



Enjoy 3 時間耐久レース

開催日程 10月15日(日)

MFJ 承認

特別規則書

●主催 十勝スピードウェイクラブ(TOSC)



※十勝ロードレースシリーズの規則は、この他に特別規則書・競技規則書・技術仕様(車両規則)で構成されています。

1. 競技会の名称

2017 十勝 Enjoy 3 時間耐久レース

2. 開催日・開催クラス・参加料

開催クラスは、車両の登録台数、使用タイヤなどで下記の通り分けられる。

1) 開催日：2017年10月15日(日曜日)

2) 開催クラス

・1台で参加[給油チーム]グループ

クラス	参加車両	タイヤ
OPEN	OPEN/Street1000/ST600	スリックタイヤの使用ができる
1C	OPEN/Street1000/Sunday	一般市販タイヤのみ
2C	ST600	BS BATTLEAX RACING R10

参加車両は、十勝ロードレース車両規則書に準ずる。

※2Cで使用できるタイヤは、スプリントレース同様にBSワンメイクです。

①参加料：

ライダー2名 24,000円

ライダー1名追加毎に、+7,000円

・2~3台で参加[マイバイク・ボンダーバトンチーム]グループ

クラス	参加車両	タイヤ
3C	OPEN/Street1000/ST600/Sunday	一般市販タイヤのみ

参加車両は、十勝ロードレース車両規則書に準ずる。

①参加料：

登録車両2~3台+ライダー2~3名 33,000円

注1) 複数クラスの車両が同チームで出場する場合は、排気量の大きい車両を基準にクラスを決定する。

注2) 参加申し込み期間終了時点で、申し込み(参加料支払済み)チームが10チームに満たない場合は、レースの開催を中止する場合があります。(10/7 AM10:00に判断します。)

注3) 今回ST600の指定タイヤの販売は行いません。

3. 参加資格

1) ライダー

当該年度有効なMFJロードレース競技ライセンス(フレッシュマン・国内・国際)所持者。十勝スピードウェイの走行経験が2時間以上ある方が望ましい。

満20歳未満のライダーは、申込書に親権者の署名と捺印が必要とする。

2) ピットクルー

当該年度有効なMFJピットクルーライセンス所持者が望ましいが、MFJ競技ライセンスおよび十勝スピードウェイサーキットライセンス所持者、十勝スピードウェイスポーツ安全保険加入者も可能とする。

最低1名、3名まで登録可能(その中から1名をチーム監督として登録すること)。要員不足の場合、エントリーは受付られない。

※ピットクルー以外は、ピットロード作業エリア・サインエリアに立ち入りことは出来ません。

4. 参加申し込み期間

9月26日(火)~10月6日(金)(※切日到着分有効。)

※参加申込期間厳守。

5. ライダーの装備

2017 十勝ロードレースシリーズ特別競技規則書に準ずる。

6. 車両規定

2017 十勝ロードレースシリーズ技術仕様(車両規則)に準ずる。

7. 公式予選

①公式予選の時間については公式通知にて発表する。

②予選通過基準タイムは設定しない。

③登録ライダーのベストラップで決勝レースのスターティンググリッドを決定する。

④同一タイムを複数のライダーが記録した場合は、セカンドタイム以降のラップタイム比較により決定する。

8. 耐久ルール

1) スタート方法

①スタート方法は、ルマン式スタートとし、各ライダーのスタート位置は公式予選のタイム順とする。

②スタート進行

1. 20分前：各チームは指定された場所でスタート前チェックを受け、マシンを押してオフィシャルの指示に従い、グリッドに着くこと。

2. 5分前：マシンのグリッドへの入場が禁止される。この時点で、グリッドに着いていないマシンは、ピットスタートとなる。

3. 3分前：スタートライダーと車両を支えるクルー以外は、速やかにコース上から退去し、ピットロード作業エリアまで下がること。これ以降、グリッドでの作業はできない。作業を続ける場合は、ピットに戻らなければならない。

4. 1分前：カウントダウン開始。スタートライダーはグリーン上(メインスタンド前)に移動しスタートの合図を待つこと。車両を支えるクルーは車両後部を支えてスタートの合図を待つこと。

5. スタート：スタート合図は、日章旗とし、スタート合図後スタートライダーはコースを横断し自分の車両に駆け寄りスタートする。

6. エンジンは、スタートライダーが単独でキックスタートもしくはセルスタートでエンジンを始動してスタートすること。押しがけ、他の協力を得て始動したチームにはペナルティが科せられる。

7. 自力でスタートが不可能な場合は、競技監督が可能だと判断した時点で全車両通過後アシスタント及びオフィシャルの協力を得てスタートを試みることができる。

8. 7.でもスタートできなかった場合は、ただちにオフィシャルの指示によりマシンをピットに押して行く。マシンの修理が終わり次第、ライダーは再度スタートすることができる。

9. ピットスタート

ピット出口地点をライダーの主要集団が通過したあとで、ピットレーンで待機しているライダーに対してグリーンライトの点灯もしくは、緑旗の振動提示を用いてピットスタートが許可される。

10. スタート手順違反へのペナルティ

当該ライダーには、ストップ&ゴー・ペナルティが科せられる。ただし、その軽重により、国内競技規則第4章MF J裁定規則に基づき罰則を科す場合がある。

11. エンジンスタートに必要なキックペダル・セルスターターを装着していない車両は、ピットスタートとなる。

2) レース終了時間

①レース終了は、スタートしてから3時間が経過した時点とし、トップライダーに対してチェッカーフラッグが振られる。天候・日没等により、競技監督の判断で3時間経過前にレースを終了する場合がある。

②トップを走行する車両が、所定の時間を完了する前にレース終了の合図が出された場合は、当該レースはその時点で終了したものとみなされる。何らかの理由により、レース終了の合図が遅れた場合でも、レースは本来終了する時点で終了したものとみなされる。

3) 順位・完走者の決定

①優勝者は、規定の時間を完走し最も周回数を多く走行しフィニッシュライン（コントロールライン）を通過したライダーとする。

②優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーは、その時点の周回数を終え、フィニッシュラインを通過した時点で終了となる。

③順位は、ピットレーンではなくコース上のフィニッシュラインで、チェッカーフラッグを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。同一周回数の場合は、フィニッシュラインの通過順による。

④完走者は、優勝者の周回数の75%（小数点以下切り捨て）以上を走行した車両とする。

⑤チェッカーフラッグの提示時間は3分間とする。

登録車両1台[給油チーム]で参加する場合

1) 給油作業・給油装置

燃料補給中の他の一切の作業は安全確保の為、禁止される。

①給油は、金属製タンク（携行缶）を使い行う事。

②給油の手順は、

1. 停止と共にメインスイッチを切る（エンジンストップ）
2. **リアスタンド**をかける
3. ライダー降車（**ライダーが跨った状態での給油は禁止**）
※停止義務時間（1分間）開始。
4. 給油作業開始（タンクのキャップを開ける）
※給油中は、その他のすべての作業禁止。
5. 給油作業終了（タンクのキャップを閉める）

③停止義務時間の開始はライダーが降車してから1分間とする。

④給油装置は、金属製タンクからの落差式のみ使用でき、プラスチック製タンク・オイルジョッキ・ポリ容器などの使用は禁止とする。（クイックチャージャー（自然落下式）の使用は可。）

⑤各チームは、必ず1本以上の消火器（使用期限内で容量1.8kg以上）を準備すること。給油中はピットクルー1名が消火器を携帯し、待機すること。

⑥給油担当者の服装は、安全のため長袖長ズボン（耐火服を推奨）、目の保護をするためゴーグルまたはフルフェイスヘルメット、革手袋（耐火性のものを推奨）を着用すること。

⑦給油中にガソリンをこぼした場合は、ペナルティの対象となる。また、こぼした場合は、ウェス等で拭き安全を確認してからコースインすること。

⑧燃料タンクは、キャップを含めメーカー出荷時純正品とし加工、ビックタンク等への交換は認められない。但し、ガソリンノズル対策プレートは取り外しても良い。

⑨給油回数の規定はない。

⑩決勝レース中、給油作業・ライダー交代の際は必ず担当オフィシャルに申し出ること。

2) スペアマシン

1チームに1台のスペアマシンを登録することができる。

①スペアマシンはメインマシンと同時に、同じゼッケンをつけた状態で車検を受け合格していなければならない。車検後のスペアマシンの変更はできない。

②スペアマシンへの変更は、オフィシャルに申告し競技監督の許可を得ること。その後、メインマシンの使用は出来ない。

③スペアマシンを使用した場合は、ペナルティの対象となる。

登録車両2～3台[マイバイク・ボンダーバトン]で参加する場合

1) マシン交代方法

①マシン交代時（トランスボンダー積み替え時）は、ピット待機車両は、エンジンを止めた状態で**リアスタンド**をかけ、ピットロード作業エリアに待機（ライダーが車両に跨っていない状態）。

ピットインしてきた車両は・・・

1. 待機車両の横に停車
2. メインスイッチを切る（エンジンストップ）
3. **リアスタンド**をかける
4. ライダー降車
5. トランスボンダー積み替え作業開始

②停止義務時間の開始はライダーが降車してから3分間とする。

ライダーが車両に跨ったままでの積み替え作業は禁止とする。

2) タイヤ規定

①登録車両1台に付き使用できるタイヤは、1セット（フロント・リア共に1本）のみとする。ただし、予期せぬタイヤの損傷、天候を理由にタイヤ交換する場合は、技術委員長の許可を得てから交換すること。ウェット宣言された場合は、この規定は無効とする。

3) 車両・ライダー交代規定

①決勝レース中、車両交代の際は必ず担当オフィシャルに申し出ること。

②登録された車両とライダーの組み合わせの変更は認められない。レース中に転倒・マシントラブルなどで組み合わせを変更せざるをえない場合は、オフィシャルに申告し、許可を得ること。その場合、ペナルティの対象となる。

4) 給油規定

①トランスボンダーを搭載している車両の給油作業は禁止する。

②待機車両へ給油する場合は、安全を確保しピット内で行うこと。

5) 何らかの理由により、ライダーとマシンの組み合わせを変更する場合は、ペナルティが科せられる。また、変更をする場合は、競技監督の許可を得る事。

全グループ共通

1) ライダーのコースイン義務

決勝レースには、必ず登録された全てのライダーがコースインしなければならない。

2) ライダー交代

ピットインした場合は、必ず自己のピット前に停車時点で一旦エンジンを停止すること。

①ライダー交代方法

1. ライダー交代の場合は、メインスイッチを必ず切ること。
2. ライダー交代のみの場合は、スタンド使用の義務は無い。

3) ピット作業

①ピットロード作業エリアにて作業ができる人数は、ライダーを含め4名までとし、チーム監督が責任を持って管理すること。

②ピット作業は、自己のピット前の作業エリアでのみ行うこと。

③ピット作業時以外は、ピットロードには出ず、安全確保に努めること。

④サインエリア内に入れるピットクルーは各チーム2名までとする。

⑤ピットエリア以外での補助及び車両に対する整備は他の援助を受けてはならない。

- 4) 技術委員長が、危険と判断した車両は出場できない。
- 5) レース中車両トラブル等でレスキューロードを使用してピットに戻った場合は競技結果から2周減算する。
- 6) 違反に対する罰則

国内競技規則第4章MFJ裁定規則 [35 裁定組織の構成・役割・権限] による。

- ①大会中(競技中も含む)における国内競技規則または、本大会規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会の権限で下記の罰則を科すことがある。罰則は文章で該当者に通知される。

罰 則	内 容
訓 戒	文章による注意……始末書の提出の場合あり
罰 金	500,000円以下の罰金。
競技結果に影響する罰則	タイム/ポイント/周回数の加算または減算。順位の変更/ストップ&ゴー・ペナルティ
失 格	競技会および競技結果の除外。

- ②上記罰則に加え、ライダー・ピットクルーまたはエントラントによる競技役員並びに大会関係者に対する暴力的な言動及び行動に対しても、ペナルティが科せられる。

1. 訓戒：文章による注意……始末書の提出の場合あり
2. 罰金：10,000円以上 50,000円以下
3. 失格










- ②上記罰則に加え、ライダー・ピットクルーまたはエントラントによる競技役員並びに大会関係者に対する暴力的な言動及び行動に対しても、ペナルティが科せられる。

1. 罰金：10,000円以上 50,000円以下
2. 失格

- ③公式シグナル提示(提示区間)における違反には下記の罰則を適用する。

1. 旗提示(提示区間)における危険行為(追い越し・転倒・コースアウトなど)に対する罰則(罰金、レースタイム加算、予選タイム抹消、失格など)は、決定は大会審査委員会が違反の内容により、国内競技規則第4章MFJ裁定規則に基づき裁量決定する。
2. 危険行為を原因とする事故を起こした場合、大会審査委員会より失格の罰則が与えられる。※違反の内容を吟味し、減刑することも出来る。

▼参考資料

公式シグナル (下記は参考であり、詳細は各種目別規則が適用される。)			
 フラッグは振動提示される(一部除く) (フラッグ寸法: 80cm×100cm)			
国旗  レーススタート(通常シグナルで示す: レッドライト消灯)	青旗(ブルーフラッグ)  後方よりベースの速い車両が接近し、追い越される状態にある。	黄旗(イエローフラッグ)  ・前方コース及びコースサイドに障害物やその他危険な状態であることを示す。 1本振動: コースサイドに危険な状態を示す。 2本振動: コース上に進行を妨げる危険性の予告。 ・減速・停止、停止準備・追い越し禁止。	黄旗+白地に黒文字のSCボード  セーフティーカー介入によるレースの非競技化(注意・減速・追い越しは禁止)指示された車両以外セーフティーカーの追い越し禁止。1列で走行すること。
緑旗(グリーンフラッグ)  ・コース規制の解除ならびに、提示ボードからの減速の解除を示す。 ・レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。 ・ウォームアップラップのスタート合図。	チェッカーフラッグ  レースまたはブラクティスセッション(公式予選等)の終了。	赤旗(レッドフラッグ)  競技中断 すべてのライダーは低速で最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。	黒旗+白文字ナンバーを付したブラックボード  当該ライダーに速やかにピットインの指示を示す。
赤ストライプ付黄旗  雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態。(オイルや落下物がある可能性も含む)	チェッカーフラッグ+青旗  ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーは追い越すことを示す。	白旗(ホワイトフラッグ)  前方に救急車両等の介入車両に遭遇することを示す。白旗表示位置から介入車両を追い越すまで他のライダーの追い越し禁止。	オレンジボール旗+黒地に白文字のサインボード  サインボードで示された番号の車両は、彼自身、及び他のライダーに危険を及ぼす可能性があり、速やかにコースから離脱し、安全な場所に停止しなければなりません。
レドクロス(赤い斜め十字の入った白旗)  コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。	レドクロス+赤ストライプ付黄旗  コース上のこの付近において、雨が降り続けていることを示す。	ペナルティーストップボード  サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし一旦停止のペナルティを受ける。	白黒斜分割旗  静止 前方にスロー走行車両があることを示す。 振動 前方のスロー走行車両と走行ラインが重なる可能性を示す。

7) 規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとし示される。

付 則 1

- 1) フルコースコーション&セーフティーカー介入
 事故発生時に競技監督の判断によって、セーフティーカーが介入してレースを一時中立化し、スロー走行で先導し、その間に事故処理を行う場合がある。

■セーフティーカー導入手順

- ①競技監督の決定により、コース内の事故などに対応する為に、セーフティーカーが使用される場合がある。セーフティーカーとは、オレンジライトを装備し、車両後部に「SAFETY CAR」と書かれた車両のことを言う。
- ②導入の際は、全てのポストで「黄旗振動」+白地に黒文字の「SC」ボードが提示され、セーフティーカーの活動が終了するまで保持される。
- ③セーフティーカーは、オレンジの回転灯を点灯し、ピットレーンよりスタートする。セーフティーカーは先頭車両の位置に関係なくコースインします。各ライダーは、セーフティーカー後方に1列で走行して下さい。

※以下の場合を除き競技車両同士及びセーフティーカーの追い越しは、厳禁とされる。

- ・セーフティーカーから合図を受けた場合。
- ・前方を走行する車両がトラブル等で隊列について行けず、そのライダーから合図を受けた場合(トラブル等により隊列について行けなくなったライダーは、ラインを外し後続車に合図しなければならない。)
- ④この時、ピットインは自由ですが、ピットアウトの際は、ピットアウト信号もしくは、オフィシャルの指示で行う事。

■競技再開手順

- ①競技監督が次のコントロールラインからのレース再開を決定したら、セーフティーカーはオレンジライトを消灯する。
- ②セーフティーカーはその週の終了時点でピットレーンに入る。
- ③セーフティーカーがピットレーンに進入すると同時に、全てのポストから黄旗振動とSCボードは一斉に撤去される。
- ④競技再開はフラッグタワーにグリーンライトが点灯されることで合図され、同時にフラッグタワーでグリーンフラッグが振動提示される。ただし、各車両は、コントロールラインを通過するまでは追い越してできない。

■セーフティーカー先導によるレース終了

- ①セーフティーカー先導中にレースが終了した場合、セーフティーカー先導のまま全車チェッカーフラッグを受けるものとする。

2) 救急車両等の介入

前方に救急車両等の介入車両に遭遇する可能性がある場合に白旗(ホワイトフラッグ)提示されます。白旗提示位置から介入車両を追い越すまでは、他のライダーを追い越すことはできません。

3) コース内停止(転倒・車両トラブル)時の処理

- ①コース内で転倒・車両トラブル等により車両が停止した場合は、ライダーは必ず、オフィシャルの指示に従って、行動してください。コース内で車両を押してピットへ向かう行為は禁止です。必ずレスキューロードを使用してください。

- ②自ら車両を押す・レッカー車にて車両回収に関わらず、レスキューロードを使用した場合は、競技結果から2周減算のペナルティを科します。

注1) レッカー車で回収された車両は、車検場横(指定場所)にてチームへ引渡しします。

注2) レスキューロードを自ら車両を押して戻ってきた場合、パドックエリアからピットクルーが車両を押すのを手伝うことができます。(レスキューロード内は禁止)